

【橋の架け方「送り出し工法」をご紹介します！】

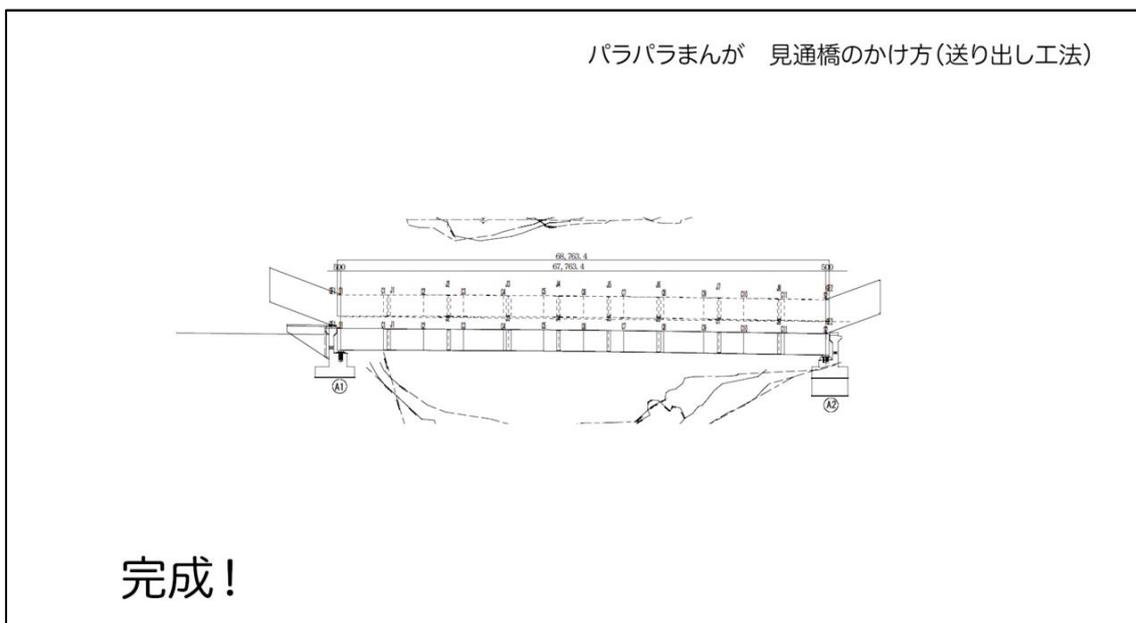
皆さんは、橋がどのように架けられるのかをご存じですか？

今回は、令和6年11月22日に檜枝岐村で行われた、見通橋開通式で放映した「見通橋のかけ方（送り出し工法）」の動画をご紹介します！

送り出し工法とは、手延べ機（てのべき）と呼ばれる仮設装置を先端に取り付け、橋本体を橋脚の位置まで送り出す工法になります。主に、桁下にクレーンが配置できないような場所で採用されます。

この動画は、実際に見通橋を架ける際の図面を使用したパラパラまんがになります。橋を通る時、どうやって作られているのかを気にしてみてもいいかもしれません！

（※本動画は、事務所公式ホームページ「南会津建設事務所の広報」でもご覧いただけます！）



PDF のためサムネイルのみ。

動画はホームページに掲載しておりますので、【公式ホームページ】→【福島県南会津建設事務所について】→【南会津建設事務所の広報】→【事業紹介】→【見通橋のかけ方（送り出し工法）】からご覧下さい。